

課題の年次推移

※データは年度別(年度末)

○従業員

従業員数

項目	項目	単位	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
従業員数	従業員数計	人	519	567	543	593	619	647
従業員年齢	平均年齢	歳	43.3	43.1	42.8	42.3	42.4	42.3
管理職数	管理職数	人	70	71	76	78	77	73
	男性		67	68	73	75	74	69
	女性		3	3	3	3	3	4
	(女性比率)	%	4.3	4.2	3.9	3.8	3.9	5.5
障がい者雇用率	年度平均	%	1.85	1.49	1.15	1.66	1.76	1.72

UBR は UBE 株式会社の 100%子会社で、UBE 株式会社および UBR グループ会社の生産物流、製造・加工、分析の各業務を担っています。

したがって、UBE 株式会社及び UBE グループの業務拡大などに伴って、従業員数が増減します。

UBR は中途採用者の割合が多いので平均年齢は 42-3 歳で推移しています。

○採用

採用

項目	項目	単位	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
採用人数	採用人数	人	34	62	60	29	62	60
3年後定着率	3年後定着率	%	85.1	85.3	85.3	88.4	82.6	90.5
離職率	離職率	%	6.0	9.0	6.6	2.7	6.2	4.1
平均勤続年数	平均勤続年数	年	10	10	9	10	10	10

UBE グループの業容拡大に伴い、毎年の採用者数は全社員の約 1 割程度で推移しています。3 年後定着率も 2022 年度は 90%となり、2021 年度から行ってきた UBR 式教育訓練体系の整備や、管理職へのエンゲージメント教育や 1on1 コミュニケーション教育などの成果が出てきているものと期待しています。UBR 式教育訓練体系は 2023 年度が 3 年計画の最後となりますので、次の 3 か年に向けた教育カリキュラムの見直しなどを実施していく予定です。

○労働

労働

項目	単位	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
年間総実労働時間	時間	914,179	934,183	981,989	1,020,701	1,036,378	1,163,766
月平均残業時間数	時間/人	10	10	8	7	7	7
年次有給休暇取得日数	日/人	11.8	12.3	13.2	15.0	12.9	15.9
年次有給休暇付与日数	日/人	17.1	16.3	16.4	16.7	16.8	18.8
年次有給休暇取得率	%	69.0	75.4	80.4	89.8	76.8	84.6
労働基準法違反件数	件	0	0	0	0	0	0

2019 年 4 月に労働基準法の改正により、年 10 日以上の子会社有給休暇が付与される労働者(管理監督者を含む)に対して、年次有給休暇の日数のうち年 5 日については、使用者が時季を指定して取得させることが義務付けられました。

UBR では以前より、平均的には 10 日以上 of 年休取得はされていましたが、個人を見ると年休を全くとっていない人もおられるなど取得にはかなりの偏りがありました。

UBR では働き方改革のなかで、残業時間の削減や年休取得の取りやすい環境づくりとして、休んでも他の人が業務を行える体制づくりに取り組んでまいりました。そのため 2019 年 4 月の法改正後の対応もスムーズに行うことができました。

また、管理職の目標管理に年休取得 14 日以上というものを取り入れて、より年休が取りやすい環境づくりを行っています。

○労働安全

労働安全

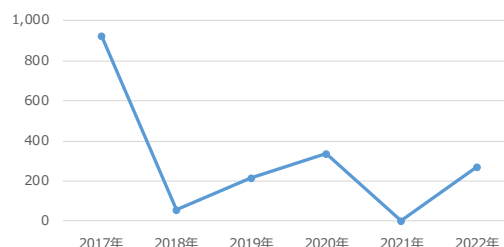
項目	項目	単位	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
死亡災害件数	社員	件	0	0	0	0	0	0
	協力会社		0	0	0	0	0	0
休業災害人数	社員	件	3	0	0	1	0	0
	協力会社		0	0	0	0	0	1
不休災害人数	社員	件	2	1	4	1	0	0
	協力会社		0	0	0	0	0	0
労働災害度数率	休業災害度数率		1.63	0.00	0.00	0.56	0.00	0.55
	不休災害度数率		1.09	0.55	2.19	0.56	0.00	0.00
安全スコア	安全スコア		926	55	219	335	0	274
	グレード		E	A	B	C	A	B
設備災害件数		件	0	0	0	1	0	0
年間総実労働時間		時間	1,835,983	1,802,441	1,824,292	1,790,205	1,759,096	1,827,985

※安全スコア=休業災害度数率×500+不休災害度数率×100

グレード A:0-140、B:140-280、C:280-490、D:490-700、E:700-

UBR の安全スコア(社員+協力会社)

(=休業災害度数率×500+不休災害度数率×100)



UBR は労働災害がなかなかゼロにできないという状況を打破するために、「当たり前のことを当たり前」というキーワードをベースに UBR 式教育訓練体系と名付けた教育体系を構築し、2021 年度より教育を実施してきました。2021 年度安全スコアでグレード A となりましたが、残念ながら 2022 年度は 1 件の休業災害が発生し、グレード B という評価になりました。2023 年度はグレード A を会社目標に掲げ活動を展開していく予定です。

○両立支援

両立支援

項目	項目	単位	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
育児休職取得者数	取得人数	人	5	7	4	5	10	11
	男性		0	0	0	0	2	4
	女性		5	7	4	5	8	7
育児休職取得率	男性	%	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	25.0
	女性		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
育児休職平均取得日数	男性	日	0	0	0	0	21	23
	女性		121	104	155	116	109	91
育児休職復職率	男性	%	100	100	100	100	100	100
	女性		100	100	100	100	100	100
産前産後休業取得人数	女性	人	3	4	2	7	6	5
子の看護休暇取得者数	取得人数	人	38	29	29	38	20	45
介護休職取得者数	取得人数	人	0	0	0	0	1	1
介護休暇取得者数	取得人数	人	0	0	0	0	0	10
育児・介護短時間勤務利用者	取得人数	人	1	4	6	5	7	3

UBR は多くの女性が活躍している職場であり、育児休職後の復職率は 100%で、非常に働きやすい職場環境となっています。

子の看護休暇や、介護休職や介護休職そして育児・介護短時間勤務など制度も充実化してきております。

○健康

健康

重点課題	項目	単位	目標値	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
検診結果を活用した脳・心疾患リスクの把握と有所見率の低減	定期健康診断受診率	%	100%	100	100	100	100	100	100
	精密検査受診率		対前年度以上	100	100	100	100	100	100
	UBE基準ハイリスク者比率		対前年度以下	5.4	7.2	5.0	6.3	7.5	6.6
検診結果を活用した悪性新生物の早期発見、早期治療	がん検診項目二次検査受診率	%	対前年度以上	100	100	100	100	100	100
ストレスチェック結果を活用した職場改善活動の推進	ストレスチェック受診率	%	95%以上	98.3	97.5	97.4	98.0	99.0	98.7
	総合健康リスク値120以上の部署（部署数）	部署	対前年度以下	8	7	8	8	10	7
	ストレスチェック高ストレス者 ^{*1} 比率	%	対前年度以下	15.9	14.5	13.1	11.7	12.6	13.4
長期休務・休職者の削減	新患発生率	%	対前年度以下	1.10	1.71	0.35	0.83	1.01	1.44
	メンタル強度率		対前年度以下	1.31	1.34	0.73	0.84	0.69	0.62
受動喫煙ゼロ	喫煙率	%	50%以上	29.3	64.6	10.0	60.0	47.6	46.0
	喫煙率		(2024年度) 20%以下	35.6	31.1	32.9	26.9	28.7	25.3
その他健康指標（対象:健康診断受診者全年齢）	適正体重の比率	%	対前年度以上	68.5	65.3	68.2	65.4	63.4	63.3
	運動習慣ありの比率 ^{*2}		対前年度以上	24.9	26.3	26.8	25.1	34.5	28.9

^{*1} 厚生労働省のストレスチェック指針（平成30年8月改定）に該当する高ストレス者

^{*2} 運動習慣あり：1週間に2回以上、1回当たり30分以上の運動をしている人

UBR は健康診断受診率は 100%であり、2 次検診受診率(精密検査受診率)も 100%を維持しています。従業員ご自身の健康に対する真摯な対応もありがたいことですが、管理職による受診勧奨の効果も少なからずあるのが現状です。2023 年度は健康経営宣言書を発出して初めての健康診断ですので、みなさんの健康志向はさらに高まっていることを期待しています。

ストレスチェックについても高い受診率ですが、まだ 100%にはなっていないため今後さらなる働きかけや意識啓蒙が必要と思っています。アンケート結果にもありますが、メンタル系で

アブセンティズムとプレゼンティズムを悪化させている方が全体の半分以上おられることを見ても、UBRとしてこのメンタルについての取り組みが必須と考えています。

喫煙についても受動喫煙については、喫煙場所の設定や勤務時間中の喫煙禁止など UBEグループの方針に則り進めてきていますが、喫煙率はまだ高い数値で推移していますので、これも今後取り組むべきテーマの一つです。2022年度から若年層への禁煙講座を対象者全員に受講していただきました。これについては新入社員を対象にした教育に組み込むことで今後も継続する予定です。

適正体重の比率は 63%程度で推移しています、運動習慣ありの比率が下がり傾向にあるのが気になります。

健康面については健康ポイント制度(仮称)のようなものを設けて、健康行動に対してのインセンティブを与えるようなことを今後検討していきます。

○健康経営に関する認知度

健康経営に関する認知度

項目	2024年度目標値 (UBEグループに準じる)	2022年11月調査	2023年3月
健康経営に関する認知度	90%	84%	91%

アンケートの結果で 2022 年 11 月時点で 84%の認知度でした。今回 3 月のアンケートでは 91%と UBE グループの目標の 90%は超えています。

全員参加の健康経営とするにはさらなる認知度向上の手立てが必要です。

○マネジメントシステム取得状況

労働安全衛生マネジメントシステム

会社	事業所	OSHMS	取得年月	登録機関
宇部物流サービス（株）	本社 ^{※1)}	ISO45001	2011年3月	LRQA リミテッド
	宇部事業所 ^{※1)}			
	堺事業所・名古屋営業所 ^{※2)}	ISO45001	2012年3月	LRQA リミテッド
	千葉事業所 ^{※3)}	ISO45001	2006年4月	日本化学キューエイ株式会社

※1) UBE株式会社 宇部ケミカル工場の認証範囲に含まれています、

※2) UBE株式会社 堺工場の認証範囲に含まれています、

※3) UBEエラストマー(株)千葉工場の認証範囲に含まれています、

環境マネジメントシステム

会社	事業所	OSHMS	取得年月	登録機関
宇部物流サービス（株）	本社 ^{※1)}	ISO14001	2000年3月	LRQA リミテッド
	宇部事業所 ^{※1)}			
	堺事業所・名古屋営業所 ^{※2)}	ISO14001	2000年2月	LRQA リミテッド
	千葉事業所 ^{※3)}	ISO14001	1999年7月	日本化学キューエイ株式会社

※1) UBE株式会社 宇部ケミカル工場の認証範囲に含まれています、

※2) UBE株式会社 堺工場の認証範囲に含まれています、

※3) UBEエラストマー(株)千葉工場の認証範囲に含まれています、